



第46号

港北区スポーツ推進委員
連絡協議会広報紙

活き生き体指

KOHOKU

平成25年3月31日発行

発行者

港北区スポーツ推進委員連絡協議会

編集

港北区スポーツ推進委員広報委員会

事務局

横浜市港北区大豆戸町26-1

横浜市港北区役所地域振興課内

☎ 045-540-2240

FAX 045-540-2245

第28回港北駅伝大会

平成25年1月6日実施

平成25年1月6日(日)日産フィールド小机にて第28回港北駅伝大会が開催され、214チーム(1353人)が走り抜けました。参加者数は過去最多となり、多くの区民が応援に訪れ、力強い声援で大会を盛り上げました。

連合町内会の部優勝

地域の協力と伝統が支えです

太尾連合A チーフコーチ 木村 洋

本年も我が町会に優勝カップを持ち帰ることができました。この13年間で優勝12回、準優勝1回となり、強豪地区であると自賛しても異論はないと思います。しかし、優勝数から考えるほど簡単に勝っているわけではありません。綱島連合をはじめ、近年は他の地区も力をつけており、毎年レース中はハラハラです。

どこの地区もそうだと思いますが、太尾連合もメンバー集めに苦労しています。特に高校生以上の女性、小学校高学年男子は問題です。女性は競技人口が少ないこと、5・6年男子で脚のある子はサッカーや野球に忙しいからです。

今年は有力な女子メンバー確保ができませんでしたが、それが逆に他選手の力を発揮させることになりました。エースは区間賞を狙いましたが、他のメンバーはとにかく大きなブレーキにならないように必死でタスキを繋ぐことを考えました。

第28回港北駅伝大会 大会結果

部門	連合町内会の部	一般男子の部	一般(高校)女子の部	高校男子の部	中学男子の部	中学女子の部
距離	20km	22km		15km		
1位	太尾連合A 1:15'42"	あるばかの使い魔 1:12'10"	白鷺女子高等学校B 1:17'12"	横浜高校A 1:11'15"	大綱中陸上部A 0:51'55"	樽町中陸上部A 0:57'33"
2位	綱島連合Aチーム 1:16'55"	Fukase走友会B 1:13'56"	白鷺女子高等学校A 1:20'31"	鶴見高校 1:12'08"	高田中陸上競技部A 0:52'14"	大綱中陸上部D 0:59'25"
3位	太尾連合B 1:18'58"	チームMiddleDistance 1:15'00"	在田高校 1:22'34"	桐蔭学園高校1年 1:13'30"	篠原中男子陸上競技部 0:52'15"	高田中陸上競技部 1:01'35"
4位	綱島連合Bチーム 1:19'59"	チームF 1:17'21"	鶴見高校 1:28'27"	在田高校B 1:14'41"	桐蔭学園中学校 0:53'21"	日吉台中チームV 1:02'17"
5位	篠原 A 1:22'33"	アラフォーと三平 1:17'38"	山手学院高 1:32'38"	桐蔭学園高校2年 1:14'42"	大綱中陸上部B 0:53'44"	篠原中女子陸上競技部 1:02'56"
6位	新羽さわやか 1:22'41"	横浜ウインズA 1:18'29"	日本大学高等学校 1:34'15"	川崎市立橋高等学校 1:14'57"	樽町中陸上部A 0:53'52"	神奈川中陸上部 1:05'46"



日産スタジアムに向かって

我々を支えているのは、小学校、太尾走ろう会、駅伝仲間が主催するトライアスロン教室など地域の活動、そして、かつて共に走った子どもたちが中学高校でも走り続け、大人になって再び仲間になってくれることです。地域の協力と長年の伝統に、11月からの練習が加わり、なんとか優勝に結びつきました。

「連合」の名の通り、駅伝仲間も地域行事では町会ごとに敵味方に分かれ競い合います。小さな地域から、大きな地域へ、今年もスポーツを楽しみつつ過ごし、来年もいいレースをしたいと思っています。



太尾連合Aチームの皆さん

中学男子の部優勝

大綱中陸上部A 山本 頌大

大綱中陸上競技部は冬季練習の中間発表として、1月6日に行われた港北駅伝大会に出場しました。冬季練習では来年の全国大会や関東大会、そして県総体、県駅伝に向けて日々努力しています。自分の種目に関係なく長距離を走ったり、普段よりも練習量を増やしたりと、弱点を減らすために頑張っています。その中での本大会は得たものがとても多かったと思いました。チームで声を出して盛り上げることの大切さを知るなど、今の1,2年生に足りないことに気づくことができました。これからの大綱中陸上競技部では、学んだことを十分に活かして、全ての大会や記録会で自分達のベストを尽くして良い結果が出せるように頑張りたいです。

第28回港北駅伝大会

大綱中陸上競技部 澤井 康太

大綱中学校陸上競技部では、毎年部員全員で港北駅伝に取り組んでいます。チームでタスキをつなぐ駅伝をとおして、「あきらめない気持ち」「粘り強さ」「責任感」といった、人として大切な部分を育てることができています。この駅伝をひとつのステップとし、今シーズン「大綱旋風」を巻き起こします。応援よろしくお祈りします。



タスキに思いをのせて

区間賞を受賞して

初めての駅伝大会

ほくは初めて駅伝大会に出場しました。最初は少し緊張していたけど走り出すとすごい応援だったので、ますます緊張してしまいました。だけど走るにつれて緊張がほぐれて、いつも練習しているように走ればいいのかと思いました。監督やみんなが応援してくれたので、頑張っ

第28回港北駅伝大会

チームが2連覇を達成して、ホッとしています。中学校の時から数えて、4回目の港北駅伝ですが、区間賞を得る事ができたのは初めての経験で、非常に嬉しいです。

太尾チームのメンバーは、いつも明るくて楽しいので、走ることが楽しい、と感じられます。チームの良い雰囲気

第28回港北駅伝大会

数年前から駅伝に参加させていただいていますが、昨年からは子どもが同じチームで走ることになり、私の走りに変化がありました。選手として1人でも多く抜いて順位を上げたい！そして、母として子どもの前でカッコ良く走りたいたい！！チームの皆さんの熱い声援に支えられ、一心不乱に

網島連合Aチーム 5区(1Km) 庭野 海人

トップの人に追いつこうとしました。その結果、区間賞を取ることができたのでとてもうれしかったです。また機会があったら駅伝大会に出たいです。



太尾連合A 3区(3Km) 有賀 裕亮

気が区間賞にもつながりました。来年も走ることが叶うのなら、一生懸命頑張るって走りたいな、と思っています！



篠原A 9区(3Km) 中田 さやか

走った第9区。その結果、昨年の2位から1つ順位を上げ、初めて区間賞をいただくことができ大感激。来年もチャンスがあれば親子でタスキを繋ぎたいですね！



区間記録

区間	距離(km)	1 位			2 位			3 位		
		氏名	チーム名	記録	氏名	チーム名	記録	氏名	チーム名	記録
1区	4	佐藤 心雄	樽町スターズ	12'25"	新田 龍宏	網島連合Aチーム	12'32"	服部 文祥	太尾連合A	13'09"
2区	1	矢野 愛弓	太尾連合A	04'01"	足達 凜	太尾連合B	04'10"	早川 七海	網島連合Bチーム	04'10"
3区	3	有賀 裕亮	太尾連合A	09'30"	森部 泰亮	菊名地区連合町内会	10'03"	小口 達也	樽町スターズ	10'10"
4区	3	石井 徹治	篠原 A	10'01"	遠藤 力	太尾連合A	10'21"	大高 一彰	新羽さわやか	10'29"
5区	1	庭野 海人	網島連合Aチーム	03'46"	吉川 夕里	篠原 B	03'58"	露峰 哲太	網島連合Bチーム	04'02"
6区	3	新地 珠美	網島連合Aチーム	12'45"	桑原 沙瑛	太尾連合B	12'50"	木村 穂高	太尾連合A	12'53"
7区	1	坂井 愛夢	網島連合Bチーム	04'34"	山田 音羽	太尾連合A	04'35"	林田 優香	網島連合Aチーム	04'35"
8区	1	山崎 篤史	太尾連合A	04'17"	中原 康介	高田	04'31"	桑野 潤二	大曾根B	04'34"
9区	3	中田 さやか	篠原 A	12'12"	足達 夏生	太尾連合A	12'41"	林 小百合	太尾連合B	12'43"

第26回港北区グラウンドゴルフ大会

平成25年3月3日実施

地域の人々の要望に応え、参加者数を大幅に増やし、72チーム（432名）が参加した今大会。当日は、晴天に恵まれました。冷たい風が吹く中、参加者や、応援者の歓声が大会を盛り上げました。

グラウンドゴルフ大会 結果

★地区対抗成績★			
順位	優勝	準優勝	3位
地区	太尾	樽町	日吉
打数	523	529	536
★チーム対抗成績★			
順位	優勝	準優勝	3位
チーム	どんぐり	菊名南町	琵琶畑B
打数	251	252	253

	★男性ハイスコア	★女性ハイスコア	★ブービー賞
チーム	大曽根B	大倉山オリーブ	高田町ジャイアンツ
氏名	鈴木 功一	石橋 菊江	宮田 斉
打数	30	36	64
★ホールインワン賞★			
チーム	大倉山オリーブ	菊名Aチーム	下町ランドゴルフ
氏名	白石 道枝	清水 有治	穂積 邦文
チーム	新羽中央	日吉B	
氏名	村田 和夫	高橋 定雄	

地区優勝

第26回港北区 グラウンドゴルフ大会

太尾地区 加藤 勲

今年度は72組432名と大きな大会に太尾地区優勝という快挙を遂げました。これもチーム一丸となり協力した結果だと思えます。

また、港北駅伝大会、ペタンク大会も太尾地区が優勝していますので、スポーツを通して社会にますます貢献していきたいと思えます。

チーム優勝

グラウンドゴルフ大会に参加して

どんぐり 小泉 シゲ子

桃の節句とはいえ、まだまだ寒く河川敷でもあり身体の芯まで染み透る寒さでした。普段は菊名小学校校庭で、月三回くじ引きでチームを決め、約30名から35名参加して行っています。そして年2回大会を開催し賞品を出しています。皆さんもそれなりに頑張り、楽しんでおります。

樽町のこの広場における年1回の大会に参加させて頂き、今回は男性3名、女性3名のチームで参加致しました。

10時40分からの、1コート、7番ホールからスタートし、地形そして距離感が掴めないままコースは進み、4コース目ぐらいで、女性1人がホールインワン1本入れ、進んで行く中最後の方で女性2人続いで入り、計3本入って1回目が終わりました。

2回目は、13時10分から、3コート、7番ホール、スタート、いきなり代表者1番打者が7番ホール、8番ホールと続いてホールインワンを出し、チーム皆が驚き、喜び進んで行く中最後にまた1本入れ、



地区優勝 太尾地区の皆さん

1人で8ホール回る中で3本入るのは初めてと本人も驚き、チームの皆さんも大喜びの中終了しました。

グラウンドゴルフはその時、その時の状況で良い時もあれば、また悪い時もあり、今回はチームの皆さんが大変好調で運も重なった様な気がします。

最後に、スポーツ推進委員の皆さんをはじめ、審判及びラインズマンの皆さんお寒い中、本当にご苦勞様でした。



チーム優勝 どんぐり「集中」

ハイスコア賞 (男性)

グラウンドゴルフ

ハイスコア賞を受賞して

大曾根B 鈴木 功一

第26回港北区グラウンドゴルフ大会で、ハイスコア賞をいただいて、1番ビックリしたのは本人で、2番目にビックリしたのはメンバーの皆さんではないかと思ひます。何故なら去年の成績は23、23の個人成績75位だったからです。定年後の平成17年に始めたグラウンドゴルフですが、日頃の練習成績をノートに貼り、年平均打数を出し毎年一打でも向上するよう励んできました。試合当日の朝は庭で少し打ってから参加しました。それがよかったかどうかはわかりませんが、日頃の練習が一番大切かと思ひます。試合当日は打順が2番目だったので、1番目の人のボールの転が

り具合、曲がり具合等を参考にして試合に臨みました。2試合目では4打が1つあり、だめかと思ひましたが、最後のホールでホールインワンが出て、ホッとしました。1試合目12、2試合目18トータル30とは、ただた



ハイスコア賞 (男性) 大曾根B だ驚くばかりです。表彰 鈴木 功一さん

式ではメンバーの皆さんが最後まで残り、祝福してくださいました。また、3日後に開催された、大曾根上本町寿会の誕生会では花束を、クラブからは賞品までいただき、皆さんに祝福され感謝申し上げます。

最後になりましたが、港北区スポーツ推進委員の皆さん、お世話になり、ありがとうございました。

平成24年度 横浜市スポーツ推進委員大会 平成25年1月20日実施

平成24年度横浜市スポーツ推進委員大会に参加して

菊名地区スポーツ推進委員連絡協議会 会長 仁司 信夫

厳冬の陽だまりの下、平成25年1月20日(日)、12時半より関内ホール大ホールにて平成24年度の市スポーツ推進委員大会が開催されました。

第1部式典には林文子市長列席のもと永年勤続表彰が行われ、港北区からは計13名(内、10年が8名、20年が5名)の該当者が出席しその中には師岡地区会長の仲澤氏、太尾地区会長の天満氏、両名も参加されており市長の祝辞と感謝状を頂き華やかなうちに無事第1部の閉幕となり



ました。

20年前の委嘱状を見て第1の感想は「光陰矢の如し」であり、土日のボランティア活動と私用が重なり子供たちとの接触が大いに不足気味であったと反省しつつ、自分の背中だけを見てスクスク育ったマイチルドレンの健康体に、十分に満足している親バカです。

被表彰者一覧

Table with 3 columns: 表彰区分 (Award Category), 氏名 (Name), and 氏名 (Name). It lists recipients for 10-year and 20-year awards.

編集後記

2011年3月11日に発生した東日本大震災、この未曾有の災害に日本中の人々が涙し、立ちすくみました。私たち第28期体育指導委員の活動にも大きな制約をもたらし、また、さまざまな情報に翻弄されながらも、地域の不安に耳を傾け地道に調整しながら活動いたしました。

2011年8月には「スポーツ振興法」に代わって「スポーツ基本法」が施行されました。私たち体育指導委員の名称もスポーツ推進委員に変わり、地域のスポーツ推進のための連絡調整という新たな職務が加わりました。いわば国の基本方針に則って、自治体と地域との橋渡しや地域内での活動を調整するという、より広範で重要な任務が明示されました。

2012年夏季オリンピック・ロンドン大会では、日本は293選手を含む518人を派遣し、金7、銀14、銅17の38個を獲得。2004年アテネ大会の37個を上回って史上最

多となりました。日本中が熱狂しひとつになり、あらためてスポーツの持つさまざまな力を実感いたしました。

28期を振り返りますと、まさにどん底から新しい責務を背負い、スポーツの力への期待が高まる中で、スポーツを通じて少しでも地域を元気にしたい、少しでも何かの支えになればと、時には這いつくばって活動に邁進してきたように思ひます。

第28期広報委員会では、41号からこの46号までの「活き生き体指」を発行いたしました。多くの皆様に原稿を依頼させていただき、快くお引き受けいただいたことに心より感謝申し上げます。

そして、いつも万全な体制で広報委員会を支えてくださった事務局及び校正、編集作業にあたった13人の広報委員の皆様、本当にお疲れ様でした。

広報副委員長 小松 賢吉